

学習指導計画

岡崎西高等学校

教科(科目)	地理歴史(日本史A)		授業者	平野 正樹
日時	平成28年9月8日(木) 第 2 限		対象・場所	1年9組40名 1年9組教室
単元 本時の位置	2 焦点としての東アジア 松方財政と民権運動の激化			
論理的思考 の観点	② 必要な情報を抽出し、分析する。 ④ 事象の関係性について洞察する。 ⑥ 仮説を立て、検証する。			
指 導 計 画 ・ 本 時 の 過 程	導 入	前時の復習(2分) ・パワーポイントを使いながら、前時の復習(松方財政と激化事件)なぜ民衆がたちあがったのか、時代背景と理由を確認させる。		
	展 開	プリント 展開1(10分) ・パワーポイントを使いながら、①三大事件建白運動、②立憲自由党の成立について流れを解説する。 展開2(10分) ・展開1で解説した、「大日本帝国憲法発布」に関する設問プリントを、パワーポイントをヒントにしなが、教科書、図説を用いて各自解答させる。 財政改革ゲーム(文部科学省のHPを利用) 展開3(10分) ・4人一組を財政改革のチームに任命し、任された政策に対し、増額するのか減額するのか、その理由をチームとして考えさせる。 展開4(15分) ・財政改革の10項目を順番にチームごとに改革の取り組む方針を1分以内で発表させる。それについて意見のある生徒は質疑応答させる。 ・全項目の改革が終了後、税制改革について実施するかどうかは、クラス全体が考えさせる。		
	まとめ	まとめ(3分) ・次の授業の内容に触れる		
評価基準	・設問プリントにしっかりと取り組むことができている。 ・財政改革について、自分の意見を積極的に述べる事ができている。			
反省	・パワーポイントでの解説にどうしても時間がかかってしまう。思い切って内容を切り捨て、生徒に考えさせる時間を設けたい。 ・財政改革ゲームでは、予想以上に活発に意見の交換がなされ、他のチームの改革についても意見を述べる生徒が多数いた。 ・HP通りの政策名ではなく、生徒にもわかるような、生活に根付い政策内容を提示したのがよかったと思うが、安易に考えてしまうのではないかという不安もあった。			

学習指導計画

岡崎西高等学校

教科(科目)	地理歴史(日本史A)		授業者	平野 正樹
日時	平成28年9月14日(水) 第 3 限		対象・場所	1年7組40名 1年7組教室
単元 本時の位置	2 焦点としての東アジア 大日本帝国憲法の制定			
論理的思考 の観点	② 必要な情報を抽出し、分析する。 ④ 事象の関係性について洞察する。 ⑥ 仮説を立て、検証する。			
指導 計画 ・ 本 時 の 過 程	導入	前時の復習(2分) ・パワーポイントを使いながら、前時の復習 私擬憲法のなかで、民衆が憲法に何を求めていたのか、確認させる。		
	展開	展開1(13分) ・パワーポイントを使いながら、①大日本帝国憲法の成立過程、②日本国憲法との違い、③帝国議会、④諸法典について流れを解説する。 展開2(20分) ・展開1で解説した、「大日本帝国憲法発布」に関する設問プリントを、パワーポイントをヒントにしなが、教科書、図説を用いて各自解答させる。 ・穴埋め形式はできる限り個別で解かせ、論述問題に関しては、各自周囲と話し合いをしながら考察させる。 展開3(15分) ・設問プリントの解答解説を行う。 穴埋め形式の箇所から順次答え合わせをする。 「大日本帝国憲法はなぜプロイセン憲法を手本としてのか。」なぜプロイセン(ドイツ)でなければならなかったのかの理由を踏まえて考察させたものを発表させる。		
	まとめ	・次の授業の内容に触れる		
評価規準	・設問プリントにしっかりと取り組むことができている。 ・論述問題を、現代日本の政治制度と比較しながら述べるができている。 ・学習に意欲的に取り組んでいる。			
反省	・授業前半の、プレゼンによる解説に時間がかかってしまい、問題に取り組む時間を減らさざるをえなかった。 ・ヒントを与えすぎて、なぜ手本にしたかについては多くの生徒が答えることができたものの、「王がいるから」「天皇制に利用できるから」といった単発の言葉で終わってしまい、明治の日本の国作りなどと文章を関連づけながら考察できる生徒がほとんどいなかった。			